

森林・林業再生について(平成24年度概算決定)

主要課題

森林・林業の再生と多面的機能の持続的発揮

林業の再生とそれを通じた森林の多面的機能の持続的発揮や低炭素社会への貢献

- ・集約化や路網整備、搬出間伐等の推進による効率的かつ持続的な森林経営の確立

森林吸収源対策の着実な推進

- ・京都議定書の温室効果ガス削減目標6%のうち3.8%を森林吸収で確保するためには、毎年55万haの間伐が必要

山地災害への対応

- ・森林の山地災害の防止機能を高め、国民の安全・安心を確保

人材の育成

地域における森林づくりのマスタープランを作成し、その実行を指導できる人材、森林経営計画を作成し施業の集約化を推進する人材等の育成

国産材の利用拡大

平成32年の木材自給率50%を目指した地域材の利用拡大

- ・「公共建築物等木材利用促進法」の着実な推進による、地域材の一層の利用拡大や木質バイオマス等地域材の新たな用途への利用拡大を推進

東日本大震災復興・復旧対策

森林・林業・木材産業における放射性物質対策の推進

防災・減災の観点からのインフラ整備の見直し

主要事項

森林管理・環境保全直接支払制度の円滑な実施

森林経営計画に基づく搬出間伐等の森林整備を実施

【森林整備事業1,173(1,182)億円のうち
森林環境保全直接支援事業 288(294)億円】

集約化に必要な情報の収集、立木調査、作業路網の改良等の活動を支援

【森林整備地域活動支援交付金 25(30)億円】

丈夫で簡易な路網の整備

丈夫で簡易な「林業専用道」「森林作業道」等の路網整備を推進

【森林整備事業1,173(1,182)億円のうち
林業専用道整備対策 108(85)億円】

安全・安心の確保に向けた治山対策の推進

台風等により被災した山地の復旧整備等を実施

【治山事業 575(608)億円】

森林・林業の再生に必要な人材の育成

森林・林業の再生に必要なフォレスターや森林施業プランナー、間伐や道づくり等を効率的に行える現場技能者を育成

【森林・林業人材育成対策 61(61)億円】

地域材の利用拡大の推進

地域における木材産業活性化、公共建築物等への地域材の利用拡大、木質バイオマスの利用拡大等を推進

【地域材供給倍増対策 11(11)億円】

森林のめぐみを活かした復興・復旧

放射性物質を除去するための実証事業や、放射性物質の拡散を防止するための森林施業・森林土木・木材産業等に係る技術開発等を推進

【<復興> 森林・林業における放射性物質汚染等対策 20億円】

海岸防災林等の復旧・再生を推進

【<復興> 治山事業 44億円】

【<復興> 災害復旧等事業 12億円】